もう悩まない!

お風呂掃除のコツをプロが直伝

カビは見つけたらすぐに取るのが鉄則

カビは、色や性質によって種類がさまざま。同じ家の中でも湿度によって生えるカビの種類は違ってきます。

浴室によく生えるのが「クロカワカビ」と呼ばれる黒カビ。黒カビは、水に濡れたところや湿気の多いところを好むため、浴室に発生しやすいのです。一方、お風呂場で見かけるピンク色のぬめりは、主に赤色酵母（ロドトルラ）と呼ばれる酵母の一種です。

そもそもカビは、「胞子」が定着し、その後発芽して成長。さらに胞子を飛ばすというサイクルでどんどん増殖していきます。そして、定着したばかりの段階では無色で、目に見える（色素がつく）頃には十分に成長していて、すでに次のカビを作る活動を行っている段階になるため、いち早く取り除く必要があるのです。

タイル壁（目地）のカビ取り

①カビ取り剤をスプレーします。タイルの目地には古歯ブラシ等でカビの生えている部分に塗りのばします。

②そのまま5分～10分おき、カビの色が消えるのを待ちます。

③カビの色が消えたら、シャワー等で薬剤分をしっかり洗い流します。頑固なカビはブラシなどを使ってこすり落とします。

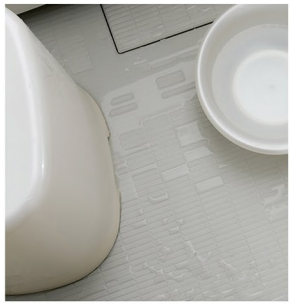
④最後にシャワー等で充分すすぎ、よく乾かします。

※一部のタイルなどでは、カビ取り剤で脱色してしまう場合がありますので、必ず目立たないところで試してから行ってください。

ワンポイント

カビ取り剤をかけても垂れてしまう場合は、ティッシュペーパーを細長く折りたたんだものを、スプレーした上からシップするように重ね、さらにその上からスプレーするとOK。

桶・イスの汚れがなかなか落ちない……



桶やイスの汚れは、石鹸カスと水垢が主な原因。そこに、身体から出た皮脂も混ざるので、思っている以上に落ちにくい汚れになります。石鹸カスや水垢は、付着してから時間が経てば経つほど固くなってしまうためです。

これらの汚れを落とすには、お風呂用洗剤をつけてスポンジでこすりますが、それでもなかなか落ちない場合は、洗剤をつけてラップで巻いて〝パック〟してみてください。パックして時間を置くことで、汚れが柔らかくなり、落ちやすくなるんです。それでも固い汚れは、プラスチックカードのような板状のものでこすると取れやすくなります。

鏡を拭いてもすぐに曇ってしまうのはなぜ?

水垢が原因と考えられます。水滴に含まれるミネラル成分はそのまま残って結晶化して水垢の原因となります。主成分は、水道水に含まれている「カルシウム」「マグネシウム」「シリカ（ケイ素）」が含まれる化合物など。

カルシウム系やマグネシウム系由来の水垢は、酸に溶けやすいので、弱酸性の洗剤が効果的。一方で、シリカは酸に強いので、研磨剤をつけて物理的にそぎ落とさなくてはなりません。

鏡の水垢を取るには、鏡を水でぬらし、水で湿らせた柔らかいスポンジにお風呂用洗剤をスプレーし、一定方向に軽くこすっていきます。それでも取れない場合は、マイクロファイバーのクロスなどの目の詰まった布を水で湿らせ、クリームクレンザーを少量つけて軽くこすってみてください。

◎ジーンズの端切れを使ってもキレイにできる!

仕上げに、水でしっかり洗い流し、乾いたぞうきんで水分をふき取ればOKです。

※クリームクレンザーをつけてこすりすぎると、傷をつけてツヤが無くなったり、汚れがつきやすくなったりしますので、ご注意ください。

※コーティングや特殊加工（くもり止め加工等）をされている鏡には実施しないでください。

なお、鏡の水垢を防ぐには、入浴後に鏡表面についた水滴をきちんとふき取っておくことをおすすめします。

浴室内の通気性が悪く、カビが発生しやすい

浴室に発生する黒カビは湿気を好むので、常に乾燥している状態を保つことが大切。

本来であれば24時間換気をするのが理想ですが、それが厳しい場合は入浴後に水気を拭き取るようにしてみてください。スクイジーで集めて拭き取ったり、吸水性の良いクロスで拭き取ったりするのがおすすめ。

また、カビ取りのお掃除をした後は、カビ発生予防のスプレーをしておくのも効果的です。

洗剤の選び方

強い洗剤を頻繁に使っていると、浴槽やタイルなど素材そのものを傷めてしまう可能性があるので注意が必要です。

お掃除をする際は、弱い洗剤から試して、どうしても落ちない場合に強い洗剤を使うのがポイント。具体的には、基本はお風呂用の中性洗剤を使うようにし、それで落ちなかった頑固なカビなどに塩素系漂白剤（カビ取り剤）を使うのがよいでしょう。

また、よく聞く「重曹」や「クエン酸」は、食品の添加物にも使用されており、比較的安心です。しかし、洗浄力は緩やかなので、溜まった汚れを一気に落とすというよりは、普段からこまめにお掃除をする際に向いているといえるでしょう。

洗剤のパッケージに、「まぜるな危険」と表記されているのを見たことがありませんか?

これは、塩素系洗剤と酸性タイプの洗剤が混ざると、有毒な「塩素ガス」が発生して非常に危険だからです。なので、両方の洗剤を同時に使うことはできません。

カビ取り剤は、塩素系の製品が多いので、カビ掃除とクエン酸（酸性タイプ）の洗剤を使った掃除を同じ日にしないよう注意しましょう。また、カビ取り剤を使う際は事前に注意事項を読み、換気をしっかりしてゴム手袋、マスク、ゴーグル（保護用メガネ）を着用するようにしてください。

〈情報提供〉
工場・施設・事務所から一般住宅まで…
プロのワザでお掃除の困りごとを解決!
ダスキン本郷
木更津市本郷2-1-38
0120-163-153